

目 次

ガイドマップ

執筆者一覧・目次

はじめに (内田雅代).....	1
第1章：基本的知識	
1. 小児がんの疫学 (内田雅代)	2
2. 小児がんの代表的な疾患 (白井史)	2
3. 小児がん治療 (竹之内直子)	5
第2章：子どもと家族との信頼関係の構築 (濱田米紀、塩飽仁)	
1. 子どもと家族の体験	10
2. 子どもと家族とのコミュニケーション	11
3. Bad Newsを伝えるとき	12
4. 対応が困難な家族へのケア	12
5. きょうだいへの支援	13
第3章：病気・治療の説明時の子どもと家族への支援 (込山洋美、野中淳子)	
1. 子どもの権利	14
2. 子どもに病気や治療のことを伝える意味	14
3. 親の複雑な思い	15
4. 子どもの病気や治療の理解	15
5. 子どもへの病気や治療の伝え方	16
6. きょうだいへの伝え方	17
7. 親が子どもに伝えることを拒否したときの対応	18
8. 病気・治療説明時の看護師の役割と多職種協働	18
第4章：療養生活の場としての入院環境 (小原美江、竹内幸江)	
1. 子どもの遊び	21
2. 入院中の学習支援	22
3. 食事と栄養	23
4. 運動	24
5. 面会・付き添い	24
第5章：AYA世代のがん患者への看護 (竹之内直子、富岡晶子)	
1. AYA世代の患者の特徴	26
2. AYA世代の患者の療養環境	27
3. AYA世代の患者の意思決定支援	28

第6章：多職種協働チームにおける看護師の役割（内田雅代、白井史）	
1. チーム医療とは	31
2. 多職種協働チームにおける看護師の役割	33
3. 今後に向けて	34
第7章：検査・処置の苦痛の緩和（平田美佳、佐藤伊織）	
1. 検査・処置を受ける子どもとその家族の体験	35
2. 検査・処置の苦痛緩和の基本	37
3. 内服支援	39
4. 中心静脈カテーテル（Central Venous Catheter：CVC）の挿入と管理	40
5. 検査・処置の苦痛緩和のための多部署・多職種協働アプローチ	42
第8章：症状マネジメント（有田直子、笹木忍）	
1. 症状マネジメントとは	44
2. 症状別のケア	44
第9章：抗がん剤曝露対策（杉澤亜紀子、小川純子）	
1. 抗がん剤の職業性曝露の機会	54
2. 抗がん剤曝露による影響	54
3. 抗がん剤曝露対策	55
4. 子どもとその家族への指導	56
5. 抗がん剤曝露時の対応	56
第10章：造血幹細胞移植時のケア（坂田友、前田留美）	
1. 移植の適応と種類	58
2. 移植に関わるチーム	59
3. 移植治療の選択	60
4. 血縁ドナー	60
5. 前処置と看護	61
6. 移植後合併症と看護	62
第11章：退院に向けた支援（岩崎美和、副島堯史）	
1. 子どもと家族のセルフケア能力を高めるケア	66
2. 復園・復学の支援	66
3. 外来移行に伴う調整	68
4. 子どもと家族の支援	68
第12章：外来治療の支援（田村恵美、井上玲子）	
1. 外来で治療を受ける子ども	70
2. 外来治療前の準備	70
3. 外来治療期間中の看護	70
4. 外来治療の継続が難しくなってきたときの看護	72

第13章：長期フォローアップ（柴田映子、小林京子）	
1. 長期フォローアップとは	73
2. 治療に伴う合併症	73
3. 健康管理・健康教育	74
第14章：再発時のケア（中谷扶美、上別府圭子）	
1. 小児がん再発時の特徴とケア	77
2. 子どもの意思決定支援	79
3. 家族の意思決定支援	81
第15章：終末期ケア（松岡真里、竹之内直子）	
1. 小児がんの終末期の特徴と終末期ケアの目指すところ	84
2. 終末期の子どもと家族の選択を支えること	85
3. 終末期における症状マネジメントと緩和ケア	88
4. 在宅ケア	90
5. 看取りのケア	91
6. 子どもを亡くした家族へのケア	92
第16章：小児がん看護に携わる看護師のメンタルヘルス（河俣あゆみ、石川福江）	
1. 小児がん看護に携わる看護師のストレスの特徴	96
2. 看護師のストレスマネジメント	97
3. 小児がん看護に携わる看護師のグリーフケア	97
第17章：ケアモデル	
1. 子どもと家族中心のケア（平田美佳）	100
2. 子どもの主体性の尊重（竹之内直子）	101
3. きょうだい支援（平田美佳）	102
4. 退院に伴う復学支援（竹之内直子）	103
5. 難しい場面の多職種連携（竹之内直子）	104
おわりに（内田雅代）	105